

令和2年度 よく学び 心ゆたかに やりぬく子



# 新座小だより 6月号

開校17年目

〒352-0006 埼玉県新座市新座3-4-1

TEL 048-478-2760 FAX 048-482-6791

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza>

全児童数：303名

地域と共に「やる気」を植える教育活動を  
～ 美しく・温かく・常に前進 新座小学校 ～

校長 齊藤 直之

本日、無事に令和2年度がスタートしました。長い休校期間となり、ご家庭におかれましては、様々なご苦勞があったことと拝察いたします。

これからの学校生活については、新しい生活様式の考えのもと、学校の教育活動を展開していくこととなります。

しかし、子供たちにとって、今日は、新しい友達と新しい先生と新しい教室でのスタートの日。ここは疑いようのない事実です。まずは、学校が始まったことを共に喜びたいと思います。

6月から始まったとしても、「初めまして」ですし、「今年一年は、何を頑張ろうか。」ここに対する思いをもたせることは、いつもの年度と変わることはない新たな節目の日となります。

これから始まる学校生活が、新しい生活様式となっても、今から始まる学校生活を、友達と先生と、どう楽しんでいくのかが大切なのです。

学校としましては、そんな子供たちを「よく学び 心ゆたかに やりぬく子」にしたい。その一心で現在の社会全体を取り巻く課題を解決していこうと教職員一同で、心を新たにしたいところです。

確かに先を見れば、不安や心配なことはたくさんあるでしょう。でも、まずは、今を大切に。今しか学べない、自分の力にすべきことをしっかりと力に。そんな気持ちをもつことが大切だと思います。そのために、学校は保護者・地域の方々の意見を取り入れながら、学校生活を進めてまいります。

私は、子供たち一人一人には、新学期の進級に際して、記念の木を植えてほしいと考えています。その木をどこに植えるかという、それは子供たちの心の中です。アメリカの哲学者ジョン・ディーイは、「ウマを水辺に

連れていくことはできるが、ウマに水を飲ませることはできない」と言いました。つまり、周りでいくら環境を整えても、もった目標のための行動をするかしないかは、本人しだいということです。

これは、私たち教員がいくら勉強を教えようとしても、子供たちにやる気がなければ、そして、学ぼうとする積極的な気持ちがなければ、子供たちが大きく成長することは難しいということです。

勉強でもスポーツでも自分から目標をもち、その目標に向かって進んでいくという「やる気」を、子供たち一人一人の心の中にしっかりと植え付けていきたいと強く思います。

そして、そのために、この「やる気」を毎日、少しずつ、そして、確実に育む努力を学校の教育活動に散りばめていこうと考えています。そのためには、保護者、地域の皆様のお力が必要です。そこで、「新座小学校アクションプラン」を作成しました。これは、学校も努力します。保護者の方々、地域の方々にも、学校の取組をご理解いただき、同じ目標に向かって、子供たちの成長のためにお力添えをいただきたい。そう考え、作成したものです。新座小の子供たち一人一人を「美しく 温かく 常に前進（やる気）」の気持ちあふれる子供にしたい。その目標の実現のために、資料を参照の上、皆様のお力添えをお願いいたします。

新学期は、学校のお正月、つまり年初めです。昔から日本人は、年の初めには心を入れ替えて「今度こそ」「今年こそがんばる」と誓いを新たにします。

本日、6月1日を、子供たちが目標をもち、自分でできることは自分でやる、人に頼らない強い気持ち、そんなやる気のある子供たちを育む、令和2年度のスタートといたします。

ご理解ご協力をお願いいたします。